

桜蔭俳話会 五月句会 (第三三五回)

平成二十七年五月三十一日(日)

吟行(野毛山動物園・展望台)

- 4点②由来濃き丘の夏風水の道 ツル子
- 3点②キリン歩けば子等も移動す夏帽子 友子
- 3点①生きてゐる獣のほひ聖五月 守
- 3点①厚化粧は紫外線除け青蛙 友子
- 2点①動物園の第八本夏落葉 秀一
- 2点 動物園囀ひを持たぬ鴉の子 秀一
- 2点 枇杷の実をきれいに食べしはぐれ猿 明美
- 2点 コンドルは新緑を背に孤独なり 眞壽
- 2点 子猿剥くバナナの皮の十文字 明美
- 2点 十葉や月の輪ぐまに首かさり 直子
- 1点①虎昼寝風格ありや強き柄 幸
- 1点 夏の日に昔なつかし動物園 眞壽
- 1点 この先の深き震源青葉潮 守
- 1点 炎昼や眼寄り来る檻の猿 弘子
- 1点 野毛山より一望の街薄暑光 友子
- 1点 みづすまし水の浮力を測りをり 守
- 1点 大方は知らぬ草の名若葉道 弘子
- 1点 見つめられ撮らるる虎の昼寝かな 秀一
- 1点 寄る子らの残る市電や風薫る ツル子
- 1点 夏木立綱に巻きつく子猿の尾 明美
- 1点 夏来たり子等は木陰でキリンかく 眞壽
- 1点 白孔雀の園内自在風薫る 友子
- 1点 飼育員離れぬ子猿夏ささす 明美
- 1点 ペイブリツチ空に溶け込む朝ぐもり 弘子
- 1点 真似したる熊の首ふり青葉風 秀一

※ 青蔭やダチヨウの遠視5Kなり 幸

- 夏木立オランウータンの堂々と ツル子
- 気高いぞアカンサスの花紫紅色 直子
- 夏めくや子を甘噛みす虎の牙 明美
- 素早くもはえをパクツと王ライオン 幸
- さる山の右往左往や青あらし ツル子
- あじさいはヘンリー像に感謝す 直子

家族づれ氷菓手に手の動物園 弘子
ありし日のつがるさんの眼月見草 幸

猛禽の檻の高さや日盛りぬ ツル子

新緑に鳥の鳴き声けたたまし 眞壽

観覧車廻ることなく街薄暑 弘子

夏帽や熊の餌やりに集まりて 秀一

枯葉つばキリンのランチ風薫る 直子

人間を隔てし柵や楠若葉 守

夏木立親子の運転市電内 幸

フラミンゴ背中の蝶や静かなり 幸

バス停やレッサーパンダの汗拭ひ 守

くす若葉空に向つて伸ばす枝 眞壽

聖五月ラクダのツガル長寿なり 直子

刈り込みしキリンの形つげ若葉 友子

(不在投句 古野明美)

参加者 守 秀一 眞壽 ツル子
幸 直子 弘子 友子

「事務局からお知らせ」

○六月の句会

・日時 六月二十八日(日)午後一時から

・会場 旭区民文化センター・サンハート

(相鉄線二俣川駅ライブ五階)

○七月の句会

・日時 七月二十六日(日)午後一時から

・会場 旭区民文化センター・サンハート

六月十三・十四日は希望が丘高校の記念祭です。
桜蔭俳話会では句の短冊を展示していますので、
ご覧ください。